

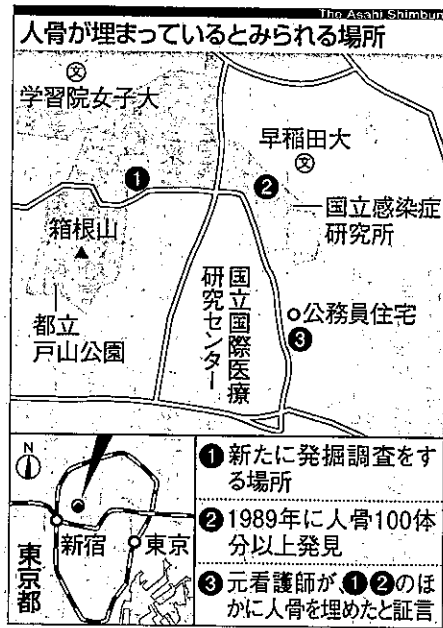
元看護師「終戦後、人体標本埋められた」

陸軍医学校跡地 初の発掘調査へ

1989年に大量の骨が
見つかった東京都新宿区戸山
の旧陸軍軍医学校跡地で、厚
生労働省は近く、初めての発
掘調査に着手する。この場所
を巡っては軍医学校に勤めて
いた元看護師が「終戦後、進
駐軍に見つからないように人
体標本が埋められた」と証言
している。発掘調査を求めて
きた市民団体によると、戦時
中に中国で細菌や毒物の生体
実験をしたとされる関東軍防
疫給水部(七三一部隊)の日

本における研究拠点があつた
場所にあたるという。

発掘調査のきっかけは、戦
時に軍医学校に勤務してい
た女性が2006年、「終戦
後に軍医学校付近の少なくと
も3カ所で解剖した遺体の標
本が埋められた」と初めて具
体的に証言したこと。それを
受け、当時の川崎二郎厚労相
が調査の実施を明言した。



女性が証言した場所は、都
立戸山公園に隣接する国有地
(①)、その約250坪東に
位置し、89年に100体分以
上とみられる人骨が掘り出さ
れた場所(②)、その南約2
50坪の公務員住宅付近(③)
の3カ所。

今回の調査地点はそのうち
の①。元看護師は戦後、付近
に設けられた国立病院の職員
から「人体標本を埋めた場所
に病院職員用の木造宿舎を建
て、監視を兼ねて住んだ」と
聞かされたという。

現場には、その後建てら
れた公務員住宅や駐車場があ
ったが、10年3月末までに全
員が退去。同11月半ばに建物
などの解体工事が終了した。
厚労省は近く省内手続きを終
え、発掘調査を行う事業者を
募集する方針だ。現場は旧尾
張藩の屋敷跡で、埋蔵文化財
保護の面から地元の新宿区や
東京都とも協議する。③につ
いては、女性は「自分も人体
標本を埋める作業を手伝っ
た」と証言しており、国はこ
の地点でも調査を検討する。
市民団体「軍医学校跡地で
発見された人骨問題を究明す
る会」(代表・常石敬一 神奈川
大教授)によると、今回の調
査場所は、七三一部隊を率い
た石井四郎軍医中将が実質的
に主管した軍医学校防疫研究
室の敷地の一部という。89年
の人骨発見場所も軍医学校跡
地だが、防疫研究室跡地とは
がけて隔たっていた。七三一
部隊の研究で知られる常石代
表は「89年の人骨は発見場所
からみて、七三一部隊とは関
係なかったと考えられるが、
今回は七三一部隊との関連が
強いものが出てくる可能性が
ある」と話す。(武井宏之)

軍医学校跡地の人骨
1989年、現在の国立感
染症研究所の建設工事中、地
下約2.5メートルから頭蓋骨(すがい
こつ)や大腿骨(だいたいこつ)
など大量の人骨が掘り出
された。新宿区が専門家に鑑
定を依頼した結果、「日本人
とは異質とみられる骨」「ド
リル、のこぎりによる加工の
跡」があることがわかった。
厚労省は軍医学校関係者ら3

68人に聞き取り調査やアン
ケートを実施。2001年、
人骨は軍医学校にあった標本
や医学教育用に集められた死
体の一部との見解を示し、明
治期以降に戦場から集められ
た戦死者が含まれていた可
能性があるとした。調査に対
して、「七三一部隊から送られ
てきたもの」との回答も一部
あったが、「七三一部隊との
関連は明らかにできなかった
」と結論づけた。